

1 Seminar for Critical Thinking IIb

【講師】	原 紘子
【日時】	10月2日～・毎週月曜日 4時限目 (14:30～16:00)
【募集人員】	3名まで
【受講料】	5,000円
【講義内容】	中級

英語での活動を通じて批判的思考および課題発見・解決力を涵養することを目指します。受講にあたっては、英検2級あるいはTOEIC® L&R 550点以上を取得していることが求められます。The class will be conducted 100% in English.

【授業計画】

- 第1回: Introduction and knowledge building
- 第2回: Understanding contents and sharing knowledge
- 第3回: Deepening knowledge through further inquiry
- 第4回: Reviewing and preparing for debate or discussion
- 第5回: Participating in debate or discussion and writing an essay
- 第6回～第10回: The contents to be repeated with a different group of students
- 第11回～第15回: The contents to be repeated with a different group of students

*使用教材: Handouts will be provided.

【選考方法】

受講希望の理由書 (300字程度) により決定

◎受講条件

英検2級あるいはTOEIC® L&R 550点以上を取得していること。

3 英語学概論 II

【講師】	村尾 治彦
【日時】	10月4日～・毎週水曜日 1時限目 (8:40～10:10)
【募集人員】	若干名
【受講料】	5,000円
【講義内容】	専門

英語表現の意味もしくはその使用的側面に焦点をあて、認知と言語の関係を考えながら、様々な現象の背後に潜む規則性を考察していきます。認知意味論では特定の表現形式と英語母語話者の認知の仕方の関係や、日本語らしい表現、英語らしい表現を考察します。さらに言語使用の側面において、会話の含意や原則などを扱います。

【授業計画】

前半10回は認知意味論について講義を行い、後半5回に言語使用の側面について考察します。

【選考方法】

受講希望の理由書 (200字程度) により決定

2 英語学演習 II

【講師】	萱嶋 崇
【日時】	10月4日～・毎週水曜日 4時限目 (14:30～16:00)
【募集人員】	3名まで
【受講料】	5,000円
【講義内容】	専門

英文法を習った時、「何故そうしなくてはならないのか」と思ったことはありませんか? "He plays the guitar." の疑問文は "Does he play the guitar." ですが、"does" はどこから出てきたの、と思ったことは? 本講義では、英語学の基礎を概観しつつ、文法の「なぜ」を理論的に追究します。

※テキスト『英語の主要構文』(2,800円+税) (中村 捷、金子義明〔編〕研究社)
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【授業計画】

英語の代名詞に関するルールや、時制解釈にまつわる不思議など、具体的な構文を理論的に考察していきます。必要になる専門的な知識は、都度解説致します。

【選考方法】

抽選により決定

4 英語 VI (c)

【講師】	李世恩
【日時】	9月29日～・毎週金曜日 3時限目 (12:50～14:20)
【募集人員】	2名まで
【受講料】	5,000円
【講義内容】	

この授業では様々な分野の英文を読むことを通じて受講生が将来必要とされるより高度な語彙力及び読解力を養い、幅広い視点から物事を考える能力を養います。基本的な文法の理解と英語を読む力が必要です。

※インターネットで検索を行う場合があります。インターネットに接続可能な媒体 (携帯電話等) をお持ちください。

【授業計画】

受講生は英語における読解力を習熟度に合わせて向上させることが目標です。定められたテキストを読み、アクティビティーを行います。授業を進めていく中で、課題・予習・復習が必要な授業です。

【選考方法】

受講希望の理由書 (100字程度) により決定

◎受講条件

Eメールでのやりとりや Word 等パソコンの操作ができること。

英語の文章 (500文字程度) がある程度読めて、50% ぐらい理解出来ること。

5 英語教育講義

【講師】	吉井 誠・Richard LAVIN
【日時】	10月4日～・毎週水曜日 5時限目（16：10～17：40）
【募集人員】	2～3名まで
【受講料】	5,000円
【講義内容】	専門

英語教育とはどういうものか、どのような学問でどのような研究を行うのかを紹介する。英語教育、並びに第二言語習得、CALL（コンピュータ支援言語学習）などの関連分野の概要を知ることが目的とする。

授業の中で英語が使用されることがあります。

【授業計画】

2名の教員によるオムニバス科目である。第1～8回は吉井誠が担当し、第二言語習得と言語学習について紹介する。第9～15回はRichard Lavinが担当し、言語学習と関連分野について紹介する。

【選考方法】

受講希望の理由書（200字程度）により決定

◎受講条件

Eメールでのやりとりやパソコンの操作ができること。

6 中国語発展 II-a

【講師】	山田 俊
【日時】	9月29日～・毎週金曜日 2時限目（10：20～11：50）
【募集人員】	5名程度
【受講料】	5,000円
【講義内容】	中級

台湾の女性作家・三毛のエッセイを日本語に翻訳しながら、ピンイン、声調記号の付いていない生の中国語を学んでいく。中級程度以上の中国語能力が求められる。

【授業計画】

読み進める箇所を指定した上で、毎回1～2程度の翻訳担当者を決めて翻訳を行っていく。その他の参加者は学習シートに予習の際の疑問点・問題点などを整理して事前に提出する。授業後にその振り返りを行い、再提出する。

【選考方法】

受講希望の理由書（100字程度）により決定

◎受講条件

課題等の提出をメールで対応できること。

7 日本語学概論 II

【講師】	半藤 英明
【日時】	10月4日～・毎週水曜日 4時限目（14：30～16：00）
【募集人員】	5名
【受講料】	5,000円
【講義内容】	専門

日本語日本文学科1年生の必修科目です。日本語に関するこれまでの研究成果を振り返り、その研究方法を学ぶと共に、問題点と今後の可能性を考えます。難解なものにならないよう心掛けますが、専門的内容を含むことをご了承ください。

【授業計画】

- ①世界の中の日本語
- ②音韻
- ③語彙
- ④意味
- ⑤文法
- ⑥表現・文体
- ⑦文字・表記
- ⑧言語生活

以上のそれぞれの基礎知識を順に概説します。

【選考方法】

募集人員を超えた場合は抽選により決定

8 英米文学多読入門

【講師】	吉田 希依
【日時】	10月5日～・毎週木曜日 5時限目（16：10～17：40）
【募集人員】	3名まで
【受講料】	5,000円
【講義内容】	

翻訳を用いて英米文学作品を多読する、英米文学の入門として位置付ける授業です。

ジャンルを問わず多くの作品に触れることで、小説の読み方を学ぶにとどまらず、分野を横断して応用可能な幅広い教養を身に着けることを目指します。

※教科書『アメリカ短編ベスト10』（1,800円＋税）
（平石貴樹編訳、松柏社）

あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【授業計画】

毎授業事に短編小説一篇を取り上げ、内容について議論します。また、受講生はそれぞれで選定した長編小説を読み進め、中間発表会で内容の要約、問題点などを紹介する機会があります。最終的に学期を終える頃に短編小説10本程度、長編小説1本を読み終える予定です。

【選考方法】

受講希望の理由書（200字程度）により決定

◎受講条件

・EメールでのやりとりやWord等パソコンの操作ができること。

9 地域文献講読Ⅱ

【講師】 鈴木 元

【日時】 10月4日～・毎週水曜日
5時限目 (16:10～17:40)

【募集人員】 若干名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 江戸時代の版本（くずし字）で読みます。

江戸時代、肥後熊本藩藩士であった、井沢長秀（蟠竜）の編著とされる『旧説拾遺』（宝永六年板本）を読み、江戸中期の地方武士の教養や関心の在処について考える。

【授業計画】

- 1、井沢長秀、その人物と事蹟
- 2、『旧説拾遺』跋文とその周辺
- 3、宝永六年刊の版本により、巻一「源頼光弟頼信をなだむる事」を読む
- 4、以下巻一、巻二と読み進める

【選考方法】

受講希望の理由書（100字程度）により決定

10 近代文学史

【講師】 五島 慶一

【日時】 10月3日～・毎週火曜日
2時限目 (10:20～11:50)

【募集人員】 若干名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 専門

本講では、明治期を中心にほぼ時系列に沿って近代文学史上の幾つかの項目を追い、創作活動の背景として存在する個人及び社会的動機に関して改めて確認することで、作家や作品への理解を深める一助とします。特段の予備知識は必要ありませんが、内容は専門的なところにまで踏み込むことがあります。

【授業計画】

基本的にある項目・作家などに関して、それぞれ1～2回ずつの講義を行い、最終的にそれらを通じて、文学史の流れの把握を目指します。各回プリントを配布します。

【選考方法】

受講希望の理由書（200字程度）により決定

11 現代世界と歴史

【講師】 大島 明秀

【日時】 10月4日～・毎週水曜日
3時限目 (12:50～14:20)

【募集人員】 若干名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 一般教養

近代日本が断行した数々の政策と歩みを確認しつつ、敗戦国として復興の道を模索した戦後日本の営為と軌跡を、外国語資料を用いて複数の視点から見ていく。また、戦後ドイツとの比較を通して、戦後責任や移民受け入れなど現代日本が直面している諸問題について考えることも課題とする。

【授業計画】

【近代編】

- 1: ガイダンス
- 2: 「日本」という言説～
- 3: <外地>への進出と統治
- 4: 近代小学校と教科書の変遷
- 5: 「国語」と「日本語」の差異
- 6: 日独の同盟とユダヤ人
- 7: 大東亜共栄圏の構想と「九州」
- 8: 近代編のまとめ。

【現代編】

- 9: 第二次大戦とその終結
- 10: 「在日朝鮮人」の誕生
- 11: 民族学校の設立と朝鮮戦争
- 12: 琉球と沖縄
- 13: 家族とジェンダー
- 14: ドイツの戦後と日本の戦後
- 15: 現代編のまとめ。

【選考方法】

受講希望の理由書（800字）により決定

12 建築環境工学Ⅱ

【講師】 辻原 万規彦

【日時】 9月29日～・毎週金曜日
1時限目 (8:40～10:10)

【募集人員】 数名程度 【受講料】 5,000円

【講義内容】 専門

建築環境工学のうち、空気環境、光環境、音環境に関する基礎事項を平易に解説する予定です。知識だけにとどまらず、ものの見方や考え方も学べることを目指します。理解を深められるように、できるだけ毎回、演習問題を出題する予定です。関数電卓が必要です。高校卒業程度の数学、物理の知識があることを前提とします。

※教科書『図説 やさしい建築環境』(2,800円＋税)(今村仁美・田中美都著、学芸出版社)
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【授業計画】

講義の内容は、自然換気、機械換気、換気計画、照度と輝度、昼光と人工照明、照明計画、色彩、音の性質、室内の音響、騒音と振動、などです。

【選考方法】

受講希望の理由書（200字程度）により決定

◎受講条件

高校卒業程度の数学、物理の知識が前提です。

13 地域景観計画学

【講師】	柴田 祐	
【日時】	10月5日～・毎週木曜日 2時限目 (10:20～11:50)	
【募集人員】	若干名	【受講料】 5,000円
【講義内容】	専門	

景観の概念、景観形成の視点、景観形成における自然の重要性などについて、全国各地の具体的な事例を通して学び、地域景観は、景観を構成する様々な要素と、ここでの人々の生活との関わりの中から成立していることを理解する。

【授業計画】

- 1、景観の概念と構成要素
- 2、地域における景観構造の把握
- 3、景観計画の考え方
- 4、景観整備の実際
- 5、景観まちづくりの実践
- 6、景観の予測と評価
- 7、文化的景観と地域づくり

【選考方法】

受講希望の理由書（200字程度）により決定

14 地域づくりと協働

【講師】	澤田 道夫	
【日時】	10月4日～・毎週水曜日 4時限目 (14:30～16:00)	
【募集人員】	10名	【受講料】 5,000円
【講義内容】	専門	

協働とは人と人との相互作用を通して社会の目標を達成していくシステムです。国や県、市町村などが行う様々な行政活動に人びとが参加し、行政と力を合わせていくことで、より良い地域を作り上げていくことが可能となります。この授業では全国の自治体が進めている協働の政策とその理念について専門的に学びます。

※教科書『真・自治行政構想の奇跡』(2,600円+税)
(荒木昭次郎・澤田道夫、敬文堂)
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【授業計画】

この授業では、協働の理念についての理解、参加から協働への発展と社会環境の変化の関係、分権概念と協働との関係、近隣政府論、地方政府の考え方などについて学びます。

【選考方法】

抽選により決定

15 公共政策論Ⅱ

【講師】	井寺 美穂	
【日時】	9月29日～・毎週金曜日 3時限目 (12:50～14:20)	
【募集人員】	10名	【受講料】 5,000円
【講義内容】	専門	

公共政策とは、様々なアクターが関与しながら策定される「公共的な諸問題を解決するための活動案」のことです。公共政策は、一般に問題認識→課題設定→立案→決定→実施→評価のステップを経ながらサイクルとして終結するといわれています。本科目では、公共政策がどのようなアクターのもと、どのように形成され、そして決定、実施、評価されているか、そのプロセスを科学的に分析・検討します。その上で、身近な社会問題を題材に、政策の立案に取り組みます。

【授業計画】

- | | |
|---------|---------|
| 第1回 | 公共政策論入門 |
| 第2・3回 | 議題設定 |
| 第4回 | 政策立案 |
| 第5・6回 | 政策決定 |
| 第7・8回 | 政策実施 |
| 第9・10回 | 政策評価 |
| 第11回 | 政策終了 |
| 第12～14回 | 政策立案の実践 |
| 第15回 | 発表会 |

【選考方法】

抽選により決定

16 憲法Ⅱ

【講師】	佐藤 雄一郎	
【日時】	9月29日～・毎週金曜日 4時限目 (14:30～16:00)	
【募集人員】	10名	【受講料】 5,000円
【講義内容】	専門	

本講義は、日本国憲法の統治機構について詳しく講義し、受講生が、わが国の統治機構の細部まで理解し、その問題点や改善の方向性を提示できるようになることを目指します。

【授業計画】

国会、内閣、地方自治、平和主義、天皇、裁判所について、詳しく講義していきます。

【選考方法】

受講希望の理由書（200字程度）により決定

17 生命倫理と法

【講師】 江崎 一郎

【日時】 10月4日～・毎週水曜日
3時限目 (12:50～14:20)

【募集人員】 若干名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 一般教養

生命倫理における多様な問題について考察する。『生命倫理学を学ぶ人のために』を解説することを通じて、私たちが近代的市民として身に着けるべき生命倫理と法に対する認識を深める。

※教科書『生命倫理学を学ぶ人のために』(2,300円+税)
(加藤尚武・加茂直樹 編、世界思想社)
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【授業計画】

人間の尊厳、バイオ・エシックス、生命倫理学の成立、医療における倫理問題、生命の誕生を巡る法と倫理、生殖補助医療、脳死・尊厳死・安楽死、中絶胎児の医療への利用、医師の倫理綱領、医事法における倫理と法、医療制度に関する法、診療契約と民事責任など

※受講生の理解度や要望、講義の進捗状況等により適宜、変更あり。

【選考方法】

受講希望の理由書 (100字程度) により決定

18 原価計算論

【講師】 望月 信幸

【日時】 9月29日～・毎週金曜日
2時限目 (10:20～11:50)

【募集人員】 若干名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 専門

本講義では、原価計算の意義および目的を理解し、原価計算の理論的アプローチおよび計算手法について講義します。最終的には、原価計算の理論を学ぶことに加え、全経2級工業簿記、さらには日商2級工業簿記程度の知識習得を目標とします。そのため、簿記の基礎知識を持っていた方が理解度は高まります。

※教科書『テキスト原価会計 第2版』(2,200円+税)
(高橋賢、中央経済社)
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【授業計画】

原価計算の基礎、原価の費目別計算(材料費・労務費・経費)、製造間接費の計算、原価の部門別計算、個別原価計算、総合原価計算(単純総合原価計算、工程別総合原価計算、組別総合原価計算、等級別総合原価計算)、標準原価計算

【選考方法】

受講希望の理由書 (200字程度) により決定

19 ミクロ経済学 I

【講師】 井田 貴志

【日時】 10月4日～・毎週水曜日
5時限目 (16:10～17:40)

【募集人員】 若干名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 専門

市場メカニズム・消費者の効用最大化行動・企業の利潤最大化行動について、理論的に講義を行う。数式や図(グラフ)を使用します。

※教科書『入門ミクロ経済学 第3版』(2,900円+税)
(井堀 利宏、新世社)
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【授業計画】

講義内容を順次進めます。

【選考方法】

受講希望の理由書 (200字程度) により決定

◎受講条件

微分程度の数学的知識は必要です。

20 環境経済学

【講師】 井田 貴志

【日時】 10月5日～・毎週木曜日
3時限目 (12:50～14:20)

【募集人員】 若干名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 専門

余剰分析・外部不経済の内部化・環境の価値評価法・環境経営・都市計画などについて、経済学の視点から講義をする。

※教科書『環境経済学をつかむ 第4版』(2,400円+税)
(栗山 浩一・馬奈木 俊介、有斐閣)
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【授業計画】

講義内容を順次進めます。

【選考方法】

受講希望の理由書 (200字程度) により決定

◎受講条件

簡単な数学の知識は必要です。